

平成 26 年度デイセンター 生活介護 事業報告書

1. 施設の名称

ハートピア出雲 デイセンター

2. 事業目的

常時介護を必要とする障害のある人に、通所による日中活動を提供する中で、食事、入浴、移動、排泄などの介護、その他日常生活上の相談支援を行うとともに、創作的活動、体力づくり、レクリエーション、音楽療法などを行うことで、在宅生活の意欲を高め、自立と生きがいづくりの促進を図ることを目的とする。

3. 利用日・利用時間

利用日 月曜日から金曜日の週 5 日間。土曜日は、行事・特別活動実施の対応とした。
利用者一人当たりの利用回数は週 1 回～4 回とした。

利用時間 9：45～15：35

4. 日課

時 間	内 容																				
9：45	送迎バス到着																				
10：10	健康チェック、身辺整理																				
10：20	〈朝の会〉出席確認、日課説明、連絡事項、給食メニュー確認、体操など																				
10：30	〈午前の活動〉 創作活動 <table><tr><td rowspan="3">【</td><td>主な活動</td><td>月・手工芸</td><td>火・書道</td></tr><tr><td></td><td>水・英語</td><td>木・園芸</td></tr><tr><td></td><td>金・調理、体力作り</td><td>土・季節の行事</td></tr></table> <table><tr><td rowspan="3">】</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> 入浴 その他、個別活動、年間行事など	【	主な活動	月・手工芸	火・書道		水・英語	木・園芸		金・調理、体力作り	土・季節の行事	】									
【	主な活動		月・手工芸	火・書道																	
			水・英語	木・園芸																	
		金・調理、体力作り	土・季節の行事																		
】																					
11：45	清掃、昼食準備																				
12：00	昼食、休憩、身辺整理、自主活動																				
13：30	〈午後の活動〉 リハビリ 音楽療法（月2回）、フラワーアレンジメント ニュースポーツ、話し合い、静養、他施設との交流、水墨画 国際交流、外出、ティータイム、車いすダンス 入浴 その他、個別活動、年間行事など																				
15：10	清掃、身辺整理																				
15：25	〈終わりの会〉連絡事項、次週の活動の説明、身近な話題など																				
15：35	送迎バス発車																				

5. デイセンター利用契約の状況

利用契者数 45人（平成27年3月末日現在）

・年齢別

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	合 計
0人	4人	5人	8人	13人	15人	45人
0%	9%	11%	18%	29%	33%	100%

・男女別

男	女	合 計
27人	18人	45人
60%	40%	100%

・主な障がい種別

肢体	知的	精神	聴覚	視覚	高次脳機能	合 計
31人	7人	1人	1人	1人	4人	45人
69%	16%	2%	2%	2%	9%	100%

・障がい支援区分

区分1	0人	区分2	12人	区分3	9人
区分4	9人	区分5	8人	区分6	7人

6. 利用状況（平成26年4月～27年3月）

・デイセンター開所日数 250日

・延べデイセンター利用人数 3933人 一日当たり平均 15.7人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
362人	342人	334人	380人	292人	313人	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
369人	303人	311人	330人	284人	313人	3933人

・障がい支援区分別延べ利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
区分2	84人	70人	80人	90人	71人	74人		
区分3	90人	88人	72人	91人	66人	77人		
区分4	86人	80人	66人	72人	58人	66人		
区分5	56人	55人	61人	60人	51人	46人		
区分6	46人	49人	55人	67人	46人	50人		
	362人	342人	334人	380人	292人	313人		
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		合計
区分2	99人	82人	88人	95人	75人	84人		992人
区分3	82人	67人	70人	74人	59人	62人		898人
区分4	77人	71人	60人	67人	61人	62人		826人
区分5	60人	48人	50人	45人	41人	54人		627人
区分6	51人	35人	43人	49人	48人	51人		590人
	369人	303人	311人	330人	284人	313人		3933人

・給食サービス延べ利用人数 3694人 一日当たり平均 15.1人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	
324人	324人	308人	339人	271人	294人	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
335人	281人	290人	294人	270人	302人	3632人

・入浴サービス延べ利用人数 958人 一日当たり平均 4.0人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
機械浴	70人	65人	76人	80人	68人	69人	
一般浴	12人	12人	5人	10人	6人	6人	
シャワー浴	8人	8人	0人	0人	0人	0人	
合計	90人	85人	81人	90人	74人	75人	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
機械浴	79人	63人	69人	68人	74人	78人	859人
一般浴	6人	8人	6人	4人	4人	4人	83人
シャワー浴	0人	0人	0人	0人	0人	0人	16人
合計	85人	71人	75人	72人	78人	82人	958人

7. 実施状況

(1) 健康管理

毎朝、体温・血圧の測定をして、その日の体調の把握に努めた。

毎月体重を測定して身体の状態把握に努めた。

利用中に服薬する利用者の薬剤の管理をその都度行った。

感染症の発生時期には、マニュアルに沿って対策を行った。

利用者の日々の健康状態を観察し、心身の状態を職員で把握するよう努めた。体調がよくない様子が見られた場合や、急変時は看護師が検診して、家族やかかりつけ医と連絡をとった。

嘱託医による利用者向けの成人病についての講話の時間を持った。(年1回)

(2) 創作活動

① 月曜日：手工芸（紙粘土、アイロンビーズ）

細かい作業の紙粘土作品にも積極的に取り組む姿が見られた。アイロンビーズ作品を展示する場がありやる気につながることができた。

② 火曜日：書道

半紙のみでなく色紙や画用紙といった紙にも筆を走らせる興味深い取り組みに挑戦した。

③ 水曜日：英語、水墨画

二人の国際交流員の創意工夫により多くの利用者に参加してもらえた。

水墨画は希望者が少なかったが、講師の方が熱心に指導してくださった。

④ 木曜日：園芸

チューリップ、ひまわり、トマト、たまねぎの栽培に取り組んだ。畑の草取りも職員とともにしてもらった。

⑤ 金曜日：体力づくり、調理活動

機器による体力づくりを定期的に行うことができた。調理活動から派生して、パソコン操作の得意な利用者がレシピを作成するという機会が持てた。

⑥ 土曜日：行事

年間の行事をほぼ予定通り行えた。

⑦ その他の創作活動

個々の利用者の興味に答えられるよう、ぬりえや旬の野菜の持込による特定の曜日以外の調理活動、プラ版、ミニ庭園というメニューも用意した。また、本年は隣の事業所の外国人のパート職員の母国の話を聞く機会も得た。

(3) 身体機能の維持

利用者個々の状況を考え、食事の形態、クッションのあてかたの助言介助を行った。

当事業所の作業療法士および理学療法士が定期的に対象者へのストレッチを行った。

(4) 日常生活能力の維持

食事の際には器や箸スプーン等の使い易い物を吟味して用意した。

感染予防のための必要な手洗いと消毒の個別指導を行った。

安全な車椅子からの移譲の仕方を指導することが生活能力維持につながった。

(5) レクリエーション

利用者一人一人を主役とする1対1でレクリエーションの時間を提供する「誕生日企画」がこれまでのように誕生月に出来ないことが多かった。(年間45回)

多くの利用者が楽しめるスポーツ(ボッチャ・ストラックアウト・スカットボール・ゲーゴル・カローリング・テーブルバレー)に一年を通して取り組んだ。(年間122回) 同様に車椅子レクダンスもボランティアの協力で楽しんだ。(年間6回)

外出の機会は出来る限り持つようにした。

買い物	年間	22回
-----	----	-----

喫茶店	年間	32回
-----	----	-----

その他	年間	49回
-----	----	-----

(6) 音楽療法

季節に応じた歌を選曲したり、利用者一人ひとりの好きなアニメソングや演歌を取り入れたりしながら多様なニーズの利用者に応じて、講師の先生に対応してもらった。発表の場(ひだまりコンサート)では多くの利用者が積極的に参加して盛り上がった。(年間25回)

(7) 送迎

リフト付き送迎専用車等(6台配車)を使用して、利用者を送迎。送迎車の運行に当たっては、利用者の安全な移動を確保するとともに、道路交通法、道路運送法等関係法規に抵触することのないよう十分注意した。日本財団の助成を受けて、送迎車両を1台新しくした。

(8) 給食

給食サービスは社会福祉法人「ふあっと」に外部委託し、センターの厨房を使用して調理した。利用者の障害、摂取状態を把握し、個別に食事の調理方法を決定した。

(9) 入浴

特殊浴槽(機械浴槽)または家庭浴槽を使用し、家庭での入浴が困難な利用者に入浴サービスを実施した。1日5人を限度とし、入浴介助は2人~3人で行うことを基本とした。男性の入浴希望者が増えた。

(10) 介護

食事、排泄、移動、更衣の介助に加えて利用者間の人間関係での配慮（社会性の障害）も多かった。個々の状態が様々で（頻繁な排泄、頻繁な静養、突然の大声等）臨機応変な対応を心掛けた。高齢化に伴う介護度のアップも見え始めた。

特定行為業務従事者の認定を受けた介護職員による以下の行為を行った。

喀痰吸引 口腔鼻腔 （年間 10回）

経管栄養 胃ろう （年間 14回）

(11) 行事活動

年間行事を計画通り実施した。別紙1参照

独居若しくは二人世帯の利用者向けの食事会（ランチパーティー）も定着。

年間を通して取り組んだボッチャの競技会に参加した。

(12) 個別支援計画の作成と実施評価

個別にアセスメントする事により、ニーズ・目標・課題を明確にして、支援計画を立てて個別支援計画書を作成し実施した。短期目標については、中間評価をして、モニタリングを行った。

(13) 利用者会議

利用者からの提案・苦情等の意見を聞く場としての利用者会議を開いた。（年2回）

(14) 緊急時及び事故発生時の対応

利用者に病状の急変が生じた場合、その他緊急事態が生じた場合は、速やかに協力医療機関又は利用者の主治医及び家族への連絡を行う等の緊急時対応フローチャート及びマニュアルに沿った必要な措置を講じた。

(15) 非常災害時の対策

定期的な避難訓練を行った。（年3回）

(16) 職員研修について

期 日	内 容	主 催 者	参加
9/2・3・4	相談支援従事者初任者研修	島根県	1名
11/26	リフトの正しい使用方法	ハートピア出雲	7名
11/28	モチベーションアップ研修	島根県社会福祉協議会	1名
12/27	ワークライフバランス講座	ハートピア出雲	全職員
12/27	ハラスメント研修	ハートピア出雲	全職員
1/17	救命救急講習会	ハートピア出雲	全職員

1/24	救命救急講習会	ハートピア出雲	全職員
2/18・19	障害者虐待防止・権利擁護研修	島根県	1名
3/26	火災発生時の報知器と通報装置のシミュレーション	デイセンター	デイ職員
3/31	緊急時シミュレーション	ハートピア出雲	デイ職員